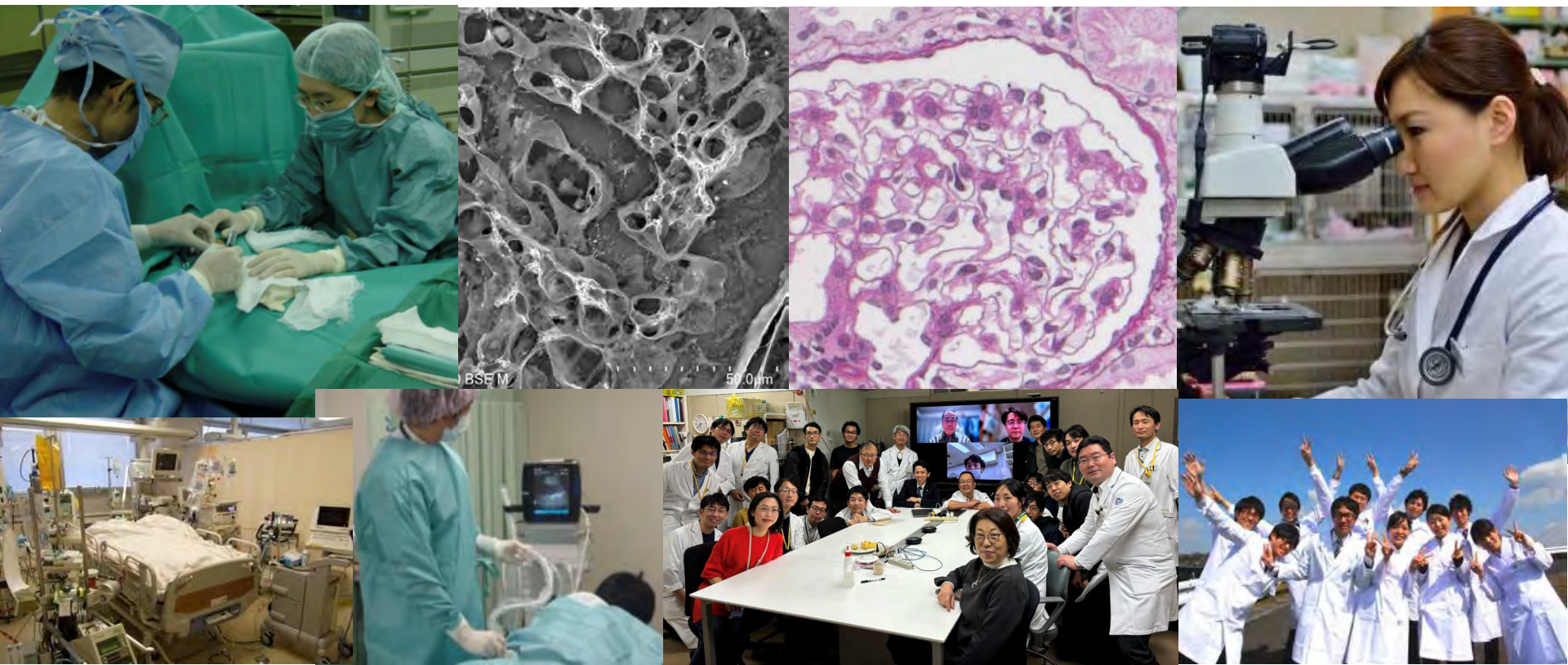
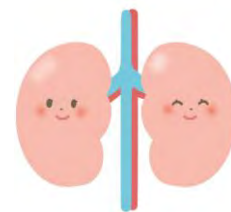


腎臓内科学講座

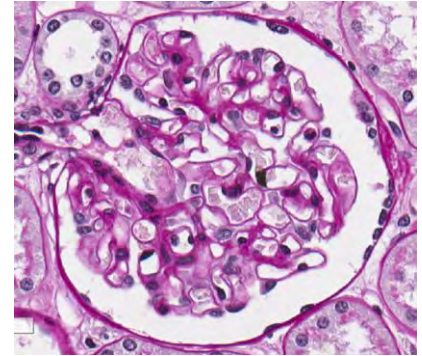
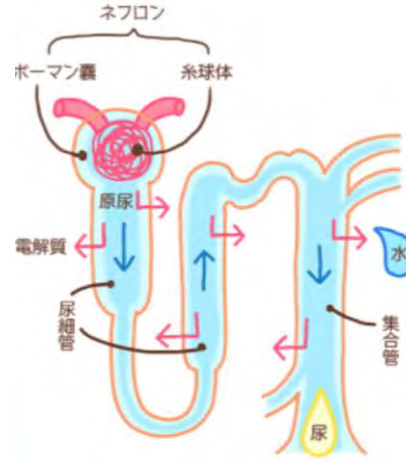


令和7年5月14日
名古屋大学大学院医学系研究科
病態内科学講座 入局説明会



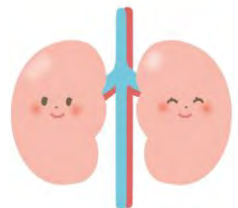
腎臓内科ってどんな仕事？

- 急性腎傷害（AKI）
- 水・電解質異常、酸塩基平衡異常
- 高血圧管理
- 感染症管理（免疫不全患者も多い）
- 腎炎・ネフローゼ症候群
- 腎生検 ⇒ 腎病理診断（腎臓内科で診断しています）
- 自己免疫疾患／膠原病（SLE、強皮症、血管炎、シェーグレン症候群など）
- aHUS（非典型溶血性尿毒症症候群）
- 慢性腎臓病（CKD、予防～末期の管理まで）
- 血液透析（内シャント作成も腎臓内科で行います）
- 腹膜透析（カテーテル挿入術も他科と一緒にを行います）
- 腎移植（泌尿器科と一緒にフォローしていきます）
- 血液浄化（血漿交換、免疫吸着、顆粒球除去、LDLアフェレーシスなど）



腎臓内科のメリット！

- ✓ 全身を診る総合力が身につきます！
- ✓ 専門医の人数が少ないので、ニーズがあります
- ✓ 腎生検→腎病理も診断できるようになります
- ✓ 手術（シャント作成）や血管内治療などの手技もあります
- ✓ 生理学、生化学の知識がダイレクトに病態把握に役立ちます
- ✓ ワークライフバランスがとりやすいです
緊急の呼び出しは少なめ（ライフステージが変化しても続けやすい）



腎臓内科のデメリット

- ✓ **難しそう…（≡幅広い領域の勉強が必要）**

（勉強すれば内科医の基本が、しっかり身に付きます）

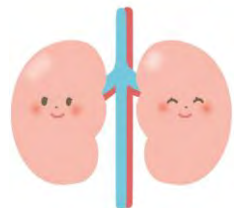
- ✓ **外科・循環器内科・消化器内科のような手技の派手さが無い**

- ✓ **なかなか病状がスッとよくなるしない！？**

（慢性腎臓病は、進行をできるだけ遅らせるスタンスになりがち）

（最近の効果のある薬が増えてきましたが…

その分、まだまだ研究のフィールドは大きい）



名古屋大学腎臓内科の使命

腎臓病の診療、教育、研究を通して
社会に貢献します。

For the Public

1. 診療

世界最高水準の医療を提供
地域医療の支援
腎臓病診療の向上

2016- 第2代教授/現病院長
丸山彰一先生

2. 教育

Physician Scientist の育成

3. 研究推進

世界レベルの腎臓研究拠点に
診療を変える研究を



2002-2015 初代教授/元病院長
東海国立大学機構 機構長 松尾清一先生

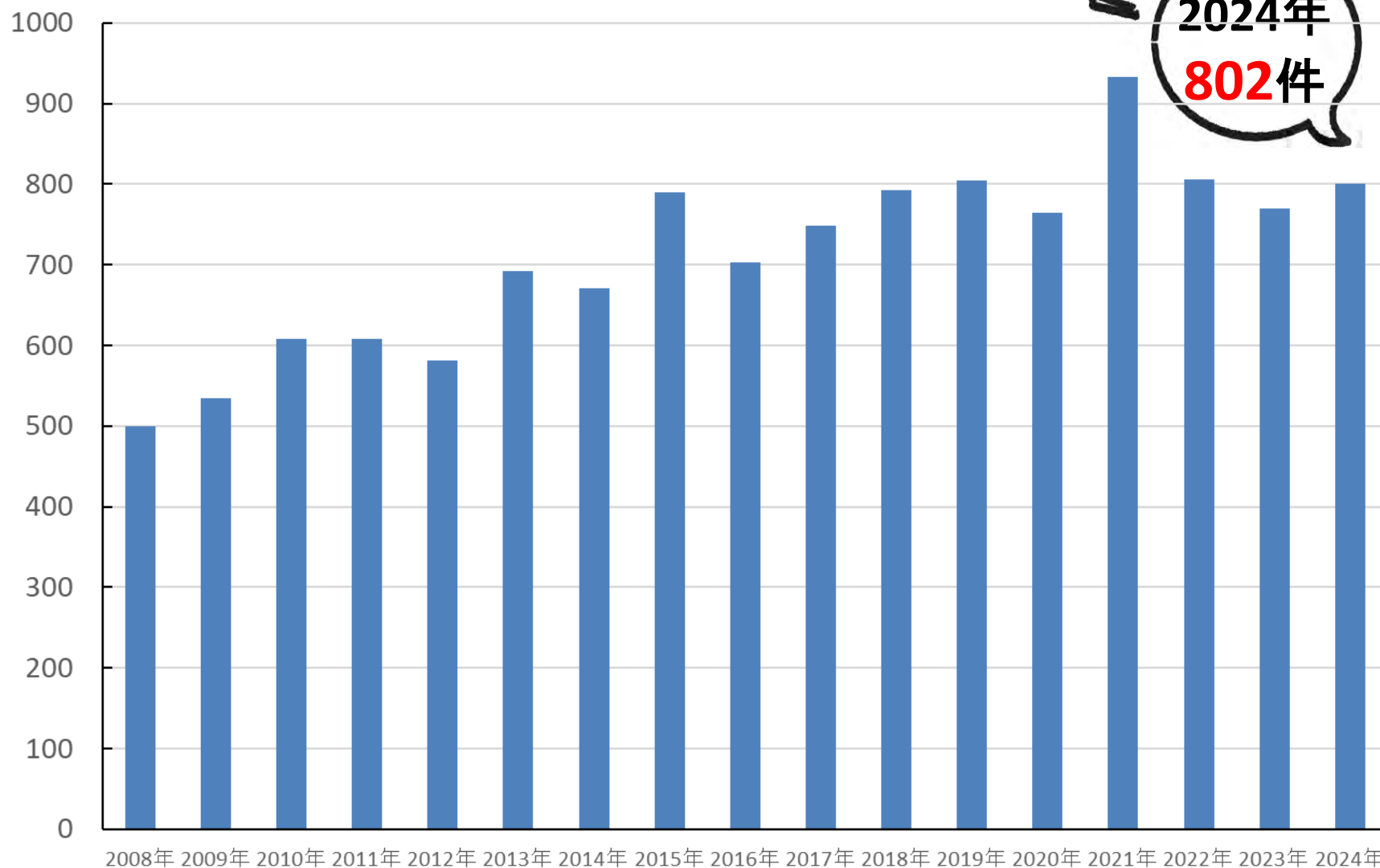
大学における臨床

- ・ 腎炎、膠原病、腎不全を中心とした診療
- ・ 腎代替療法（血液透析、腹膜透析）
- ・ 血液浄化療法（血漿交換、血球除去療法、LDL-C吸着）
- ・ **腎移植**（泌尿器科と協力）
- ・ **腎生検の病理診断**（年間800例以上）
- ・ 腹膜透析・多発性嚢胞腎・膠原病の専門外来開設
- ・ **希少疾患（aHUS）**の疾患事務局運営(厚労省難病研究)
- ・ 先進治療の開発（脂肪幹細胞を使った治療など）
- ・ 治験（膜性腎症に対する医師主導治験など）

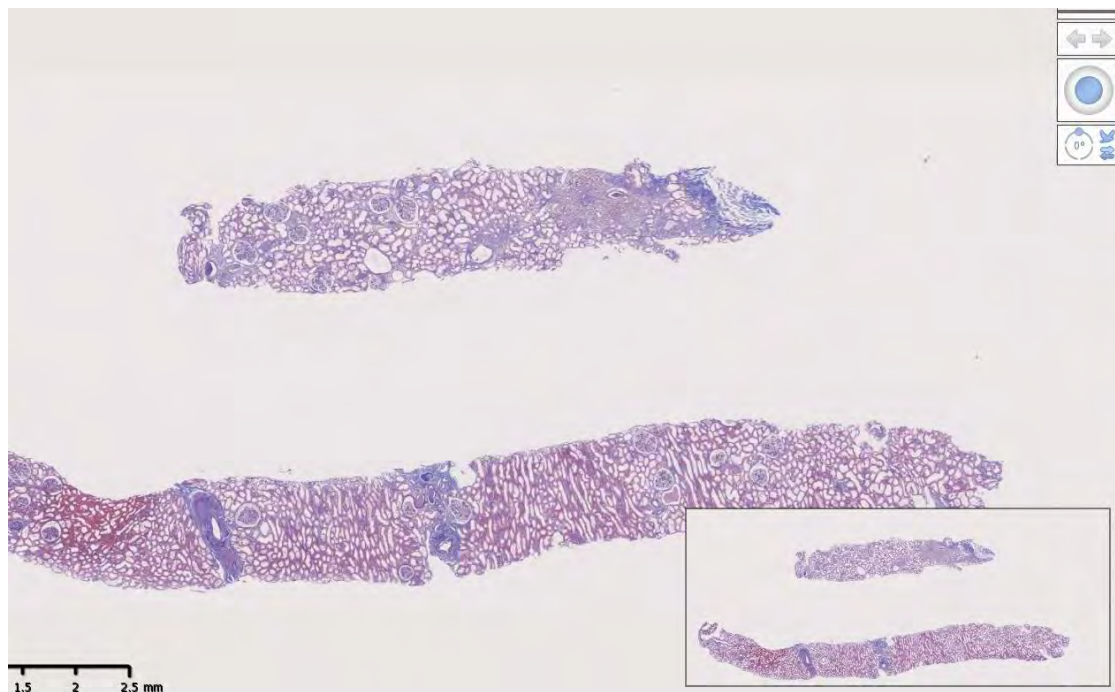


名大関連病院 腎生検/診断 総症例数は日本一！？

おそらく！？日本一の症例数



バーチャルスライドシステムでどこでも診断可能！



2023年より、バーチャルスライドシステムの導入

みんなで病理所見を議論して、診断・治療に
役立てれるのは楽しいですよ！！

尾関先生



教育プログラムが充実している！

Nagoya Nephrology Fellowship Program (NNFP)

- ・名古屋大学腎臓内科と関連病院で共通の専門医養成プログラム
- ・3年間で腎臓内科専門医を養成するための統一したプログラム
- ・プログラム内容

夏：水・電解質、酸塩基平衡（初期研修医向け）

冬：AKI、腎代替療法、腎病理診断、膠原病診療など
学外より講師を招くとともに、**卒後6年目の先生がチューター**となり
身近な問題点を解決。

- ・プログラム参加者で全課程を研修した先生に修了証を発行。

20年以上続く腎臓専門医育成プログラムで、
今年夏の会で**第47回**をむかえます

教育のノウハウがたくさんあります！

名古屋腎臓内科専門医養成プログラムNNFP

第46回 (2025年2月)

第47回 (2025年7月26, 27日予定)

第47回NNFP 2025年 冬
名古屋大学腎臓内科専門医養成プログラム
Nagoya Nephrology Fellowship Program

症例で学ぶ！
AKI
急性腎不全

2025年2月16日(日)
9:00~16:00 (8:30 受付開始)

会場：名古屋大学大学院医学系研究科
医学研究棟1号館地下1階 会議室

住所：名古屋市中区鶴舞町65

申込：事前申込(下のQRコードより)

参加費：¥1,000 (お弁当付き)

対象：初期研修医、後期研修医

AKIについて学びたい学生・若手医師・医療関係者の方

参加登録は
こちらから。
お気軽に
ご参加ください！



名古屋大学腎臓内科専門医養成プログラム
Nagoya Nephrology Fellowship Program

第47回 NNFP
電解質のピットホール克服

開催日時
令和7年 7月26日(土) 27日(日)
名古屋大学附属病院 鶴友会館 2F

教科書で勉強するものの、実際の診療は教科書通りにはいかないもの。
『診断が違っていた』『予定していた治療計画より過剰補正してしまった』
そんな経験はありませんか？
長く診療をしていけば誰もが通る、しかしできれば自分は落ちたくない、そんな、
『電解質のピットホール』を本セミナーでは取り上げていきます。
症例を通じてピットホールを共有し、電解質異常への苦手意識を克服しましょう！

参加費
2000円
学生無料
軽食付き

こんなことでお悩みではありませんか？

- problem1 教科書だけでは
良く分からないから、
症例を見るのが怖い
- problem2 教科書に載っていない
非典型的な症例の
対応が分からない
- problem3 他の施設では
どうやって
治療しているの？
- problem4 そもそもどうやって
勉強すればいいか
分からない！！

本セミナーでは、電解質の診断や治療に関するヒントが満載！
症例を用いて電解質の診断・治療法を学び、明日からの臨床が楽しくなる！！

7/26 (土)	『血液ガス読解』『Na異常のいろは』	7/27 (日)	『発汗-K補正』『高Ca血症の落とし穴』
14:30	受付、開会式	09:30	これでERも安心！高Ca治療
15:00	血液ガス読解	10:00	重症低K血症に立ち向かう
16:00	症例で学ぶ低Na血症	11:30	昼食、Q&Aコーナー
16:30	Na補正のコツ教えます	12:00	高Caの診断、それでOK?
18:30	Q&Aコーナー、解散	15:00	閉会式

申込先：西堀病棟
学芸科室：深田典史(西堀病棟)
事務局：名古屋大学腎臓内科専門医養成プログラム(NNFP) 渡野道子
Mail: nnfp@med.nagoya-u.ac.jp
会場：名古屋大学附属病院 鶴友会館 2F (名古屋市中区鶴舞65)

申込は
こちら！！



腎臓内科でキャリアを築いてみませんか

皆さんは腎臓内科医というと、どの様なイメージを持つでしょうか。

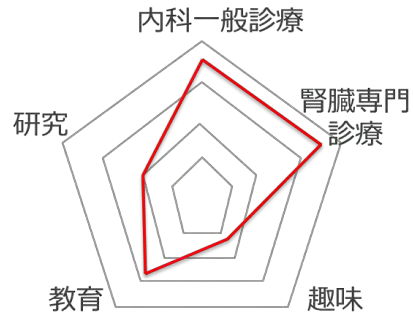
- ・急性腎傷害、水・電解質酸塩基平衡異常
- ・腎炎・ネフローゼ症候群、腎生検、腎病理診断
- ・自己免疫疾患・膠原病
- ・内シャント作成/血管内治療
- ・慢性腎臓病→腎代替療法（血液透析/腹膜透析/腎移植）
- ・教育に力を入れる
- ・腎臓生理学、生化学、免疫学、病理学



色々なタイプのドクターがいて、それぞれの得意分野で輝ける！

キャリアプランの一例①

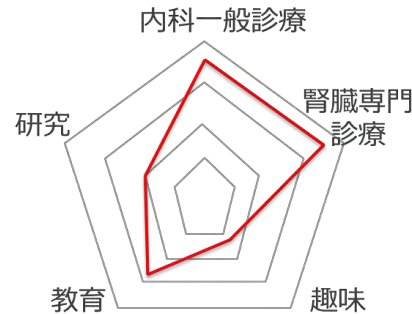
腎臓専門診療 (関連病院)



研修医・専攻医
の先生と楽しく
やっています！



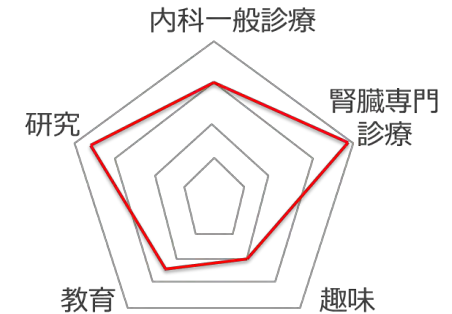
シャント作成・PTA 腎臓専門診療



シャント作成・
PTAなら任せて！



腎臓専門診療 膠原病診療

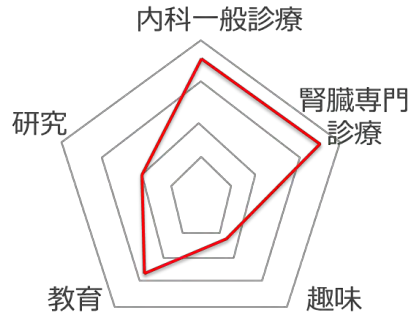


膠原病は、難病が
多いですがやりが
いがありますよ



キャリアプランの一例②

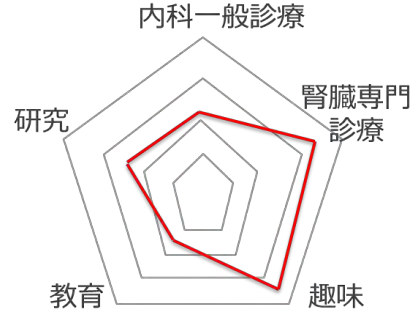
ジェネラリスト 教育熱心



全身診て、診断するのは内科の醍醐味です



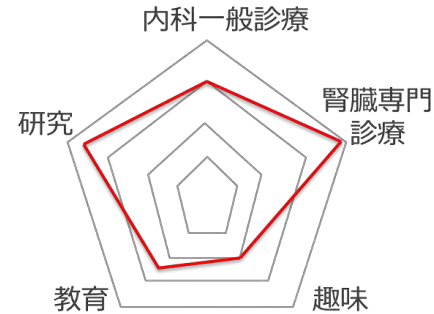
腎病理診断 臨床研究



腎病理診断は奥深いですよ



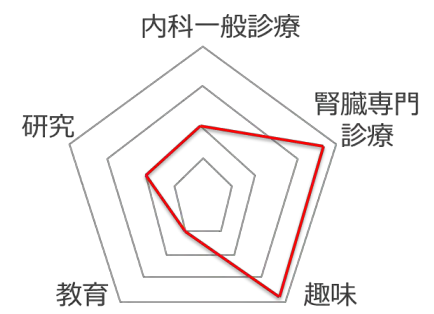
大学で基礎研究 腎臓専門診療



研究も一度は経験してほしい



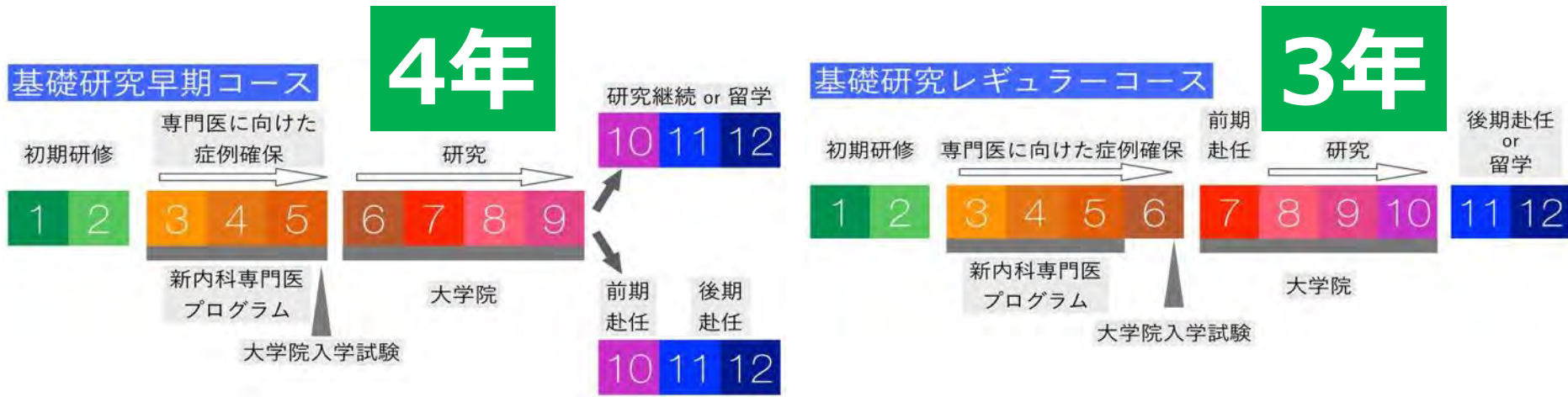
透析クリニック勤務 プライベートも重視



透析診療はプライベートと両立させやすいです



大学院基礎研究コース



大学院臨床研究コース



医員コース



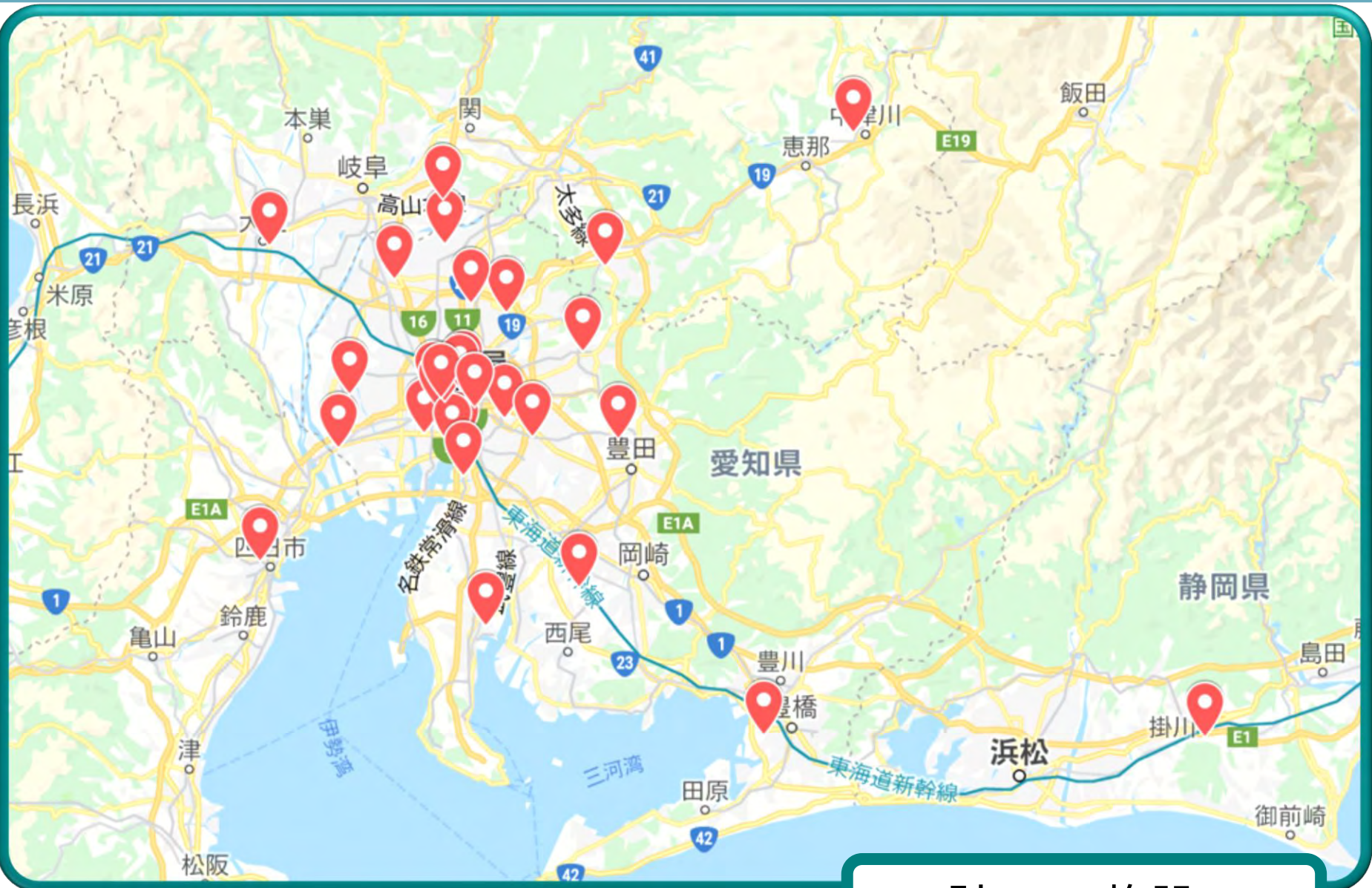
個々の状況にも柔軟に対応します

入局者数の推移：年別

入局年	総数	男性	女性	名大	他大学卒
H30年	22	17	5	11	11
R1年	15	13	2	6	9
R2年	10	7	3	2	8
R3年	19	11	8	4	15
R4年	13	6	7	3	10
R5年	15	13	2	4	11

女子：男子 = 約 1：2 名大：他大 = 約 1：2

名古屋大学腎臓内科の関連病院



計 31施設

名古屋大学腎臓内科HPにアクセスください

「名大」、「腎臓」、「後期研修医」にてアクセスを！

名古屋大学 腎臓内科 HP

The screenshot shows the homepage of the Nagoya University Nephrology Department. At the top, the header includes the department name in English and Japanese, and navigation links: HOME, ブログ (Blog), お問い合わせ (Contact), 患者さんへ (To Patients), 臨床研修のご案内 (Clinical Training Guide), ご紹介・専門外来 (Introduction/Special Outpatient), 医局案内 (Medical Office Guide), NNFP (Nagoya Nephrology Network for Professionalism), and 研究について (About Research). Red circles highlight '臨床研修のご案内' and 'NNFP'. Red arrows point from these circles to the text 'NNFP (教育プログラム)' and '研修案内' on the right. Below the header is a banner featuring illustrations of medical professionals and the text '腎臓内科の診療・教育・研究を通じて社会に貢献します' (We contribute to society through the treatment, education, and research of nephrology). Below the banner, a dark bar contains the text '名古屋大学腎臓内科は、後期研修医募集中です！' (Nagoya University Nephrology Department is recruiting postgraduate residents!). A red circle highlights this text, with a red arrow pointing to '専攻医募集' (Specialized Doctor Recruitment) on the right. At the bottom, there are three boxes for clinical research and other services: 1. '『糖尿病性腎症』に対する先進医療のご案内' (Advanced medical treatment for diabetic kidney disease), including LDLアプセラシス療法 (LDL apheresis therapy). 2. '脂肪由来幹細胞を用いた再生医療' (Regenerative medicine using fat-derived stem cells), including MSC細胞とiPS細胞 (MSC cells and iPS cells). 3. '非典型型溶血性尿毒症症候群 (aHUS) 疾患事務局' (Atypical hemolytic uremic syndrome (aHUS) disease secretariat), including 疾患相談や、補体検査の受付 (Disease consultation and acceptance of complement examination). A red bracket groups these three boxes, with a red arrow pointing to '臨床研究 その他' (Clinical research and other) on the right. Each box has a '詳しくみる >' (See details >) button.

名古屋大学腎臓内科は、後期研修医募集中です！

専攻医募集

臨床研究
その他



**腎臓内科で
ぜひ一緒にやりましょう！**



前田 佳哉輔

ご清聴ありがとうございました。

お問い合わせは、
腎臓内科 医局長 前田 佳哉輔まで
(まえだ かやほ)

Email: maeda15@med.nagoya-u.ac.jp